

 あさくち

市議会 だより

平成23年3月定例会

No.9

平成23年5月1日発行

【主な目次】

平成23年度当初予算を可決	…… P 2
3月定例会を開催	…… P 3
議員報酬を減額	…… P 6
委員会レポート	…… P 9
議員11名が市政を問う	…… P11



第25回 国民文化祭・おかやま2010「天文台のあるまち★あさくちフォトコンテスト」
浅口市議会議長賞「天文台のさつき花」 (撮影：今井誠造氏)

平成23年度当初予算を可決

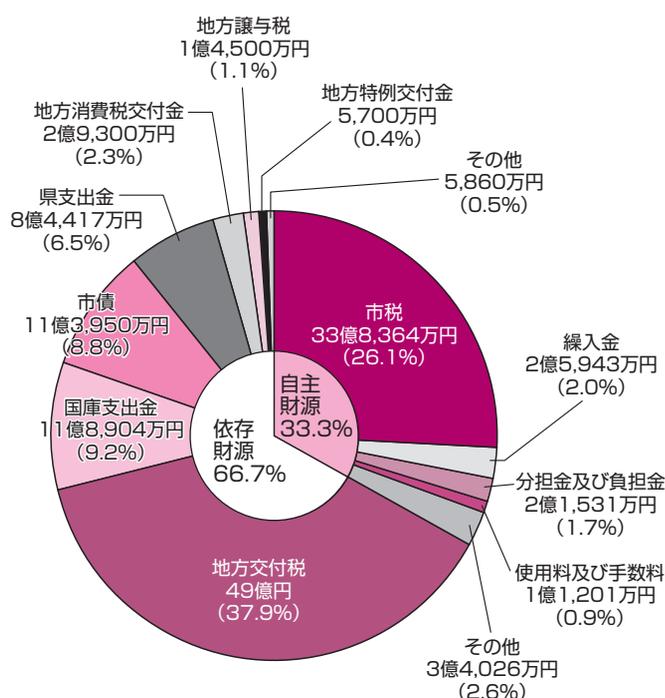
総額240億7,177万円(前年度比+0.1%)

一般会計予算 総額129億3,700万円

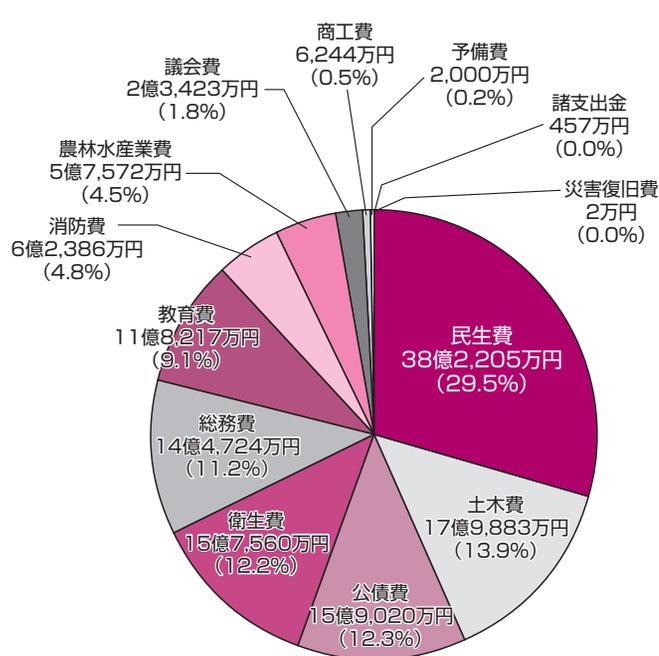
(前年度比-3.6%)

平成23年度当初予算をすべて可決しました。一般会計ではJR鴨方駅橋上化工事の竣工により、骨格予算で編成した平成22年度当初予算額を下回る規模となりました。

一般会計歳入



一般会計歳出



特別会計・企業会計当初予算

会計名	金額	前年度比
国民健康保険	42億9,804万円	+0.2%
後期高齢者医療	4億3,557万円	-6.8%
住宅新築資金等貸付事業	339万円	-17.0%
介護保険	34億4,606万円	+3.2%
公共下水道事業	18億9,011万円	+21.5%
畑地かんがい給水事業	711万円	-27.5%
益坂財産区	4,322万円	+243.6%
工業団地開発事業	6,356万円	-24.0%
水道事業	9億4,769万円	+10.7%

歳出の主な事業

区分	事業名	予算額
総務費	市営バス運行事業	2,589万円
民生費	私立保育所運営委託料	4億 276万円
衛生費	子ども医療費給付事業	1億3,530万円
農林水産業費	防潮堤開閉ゲート整備事業	5,530万円
土木費	金光駅周辺整備基本構想策定事業	298万円
消防費	自主防災組織活動補助金	240万円
教育費	適応指導教室事業	221万円

※金額は1万円未満切り捨てのため、合計が一致していません。

東北地方太平洋沖地震災害支援決議 議員報酬削減条例案を可決

3月定例会を開催

3月定例会を3月1日から17日までの17日間の会期で開催しました。

初日に、平成23年度予算案など28件が上程されました。また議員から議会基本条例、議員の政治倫理に関する条例の制定に向けた決議案が提出され、可決しました。

二日目からの一般質問では代表質問2会派、個人質問9名の議員が市政を問いました。四日目には、議員から議員報酬を1年間10%減額する条例改正案が提出されました。市長提出議案は一部を可決し、当初予算案などの議案は質疑の後、各常任委員会に付託し、慎重に審議しました。

最終日には、冒頭に議長及び市長が東北地方太平洋沖地震災害の被災者に対し、お見舞いの言葉を述べ、全員で黙とうしました。議員から被災者への義援金支援を行う決議及び議員報酬を7月から9ヶ月間15%減額する条例改正案が提出され、賛成多数で可決しました。次に委員長報告があり、上程された市長提出議案をすべて可決しました。また東北地方太平洋沖地震災害見舞金を計上する補正予算など2議案、国道2号バイパスの建設に地元要望の反映を求める意見書を関係行政機関へ送付すること、議員定数の削減・議長交際費の削減を検討する決議案を可決しました。

平成22年度3月補正予算

一般会計補正予算 総額4億9,748万円を可決

補正後総額146億2,992万円(対前年比+10.7%)

一般会計補正予算（歳出の主なもの）

区分	事業名	予算額
総務費	生活関連道路新設・改良事業	8,800万円
	東北地方太平洋沖地震災害見舞金	600万円
民生費	生活保護費	1,806万円
諸支出金	学校施設等整備基金積立金	3億円

特別会計・企業会計補正予算

会計名	補正額	補正後総額
国民健康保険	▲3,688万円	43億1,523万円
後期高齢者医療	▲3,927万円	4億2,825万円
介護保険	▲150万円	33億6,289万円
公共下水道事業	▲3,672万円	18億9,458万円
工業団地開発事業	▲4,454万円	3,191万円
水道事業	▲3,000万円	8億7,301万円

条例等

● 浅口市営バス運行事業に関する条例の制定

【原案可決】

浅口市営バス「浅口ふれあい号」の運行に關しての必要な事項を定めるものです。料金は無料とし、運行路線は6路線となります。

● 浅口市住民生活に光をそそぐ基金条例の制定

【原案可決】

国から「住民生活に光をそそぐ交付金」が交付されることに伴い、新たに基金条例を設けるものです。

● 浅口市事務分掌条例の一部を改正する条例

【原案可決】

老人保健制度に関する事務を生活環境部の事務分掌から削除するものです。

● 浅口市憩いの広場条例の一部を改正する条例

【原案可決】

鴨方駅南区画整理事業により、新たに設置された2ヶ所の公園を市の施設として管理するたためものです。

● 浅口市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び浅口市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

市長、副市長、教育長の給料を引き続き来年3月までの間、2割削減するためのものです。

● 浅口市特別会計条例の一部を改正する条例

【原案可決】

浅口市老人保健特別会計を廃止するものです。

● 浅口市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例

【原案可決】

平成22年10月から実施している幼稚園保育料の減額（第1子は500円、第2子以降は1,000円を減額）を平成23年度以降、恒久的なものとするためのものです。

● 浅口市健康福祉センター条例の一部を改正する条例

【原案可決】

健康福祉センター浴場の使用料の改定と国際交流室の名称を変更し、一般貸し出しができるようにするためのものです。

● 浅口市営駐車場条例の一部を改正する条例

【原案可決】

鴨方駅周辺整備事業により、鴨方駅南側に新たな駐車場を整備し、市営駐車場として管理し、鴨方駅東臨時駐車場及び西臨時駐車場を廃止するものです。

● 市道路線の認定

【原案可決】

道路改良による1路線、新規事業認定による2路線及び開発道路の管理移管による4路線

【原案可決】

● 市道路線の変更

1 路線

● 和解

【原案可決】

停車中の公用車が追突され、破損した事故について、相手方と和解するものです。

専決処分

● 和解及び損害賠償額の決定

【承認】

道路管理瑕疵^{かし}に起因する事故について、市が相手方と和解し、損害賠償額を保険より支払うものです。

人事案件

● 教育委員会委員の任命

【同意】

教育委員会委員として、歯科医師である藤井徹氏を任命することについて同意しました。任期は平成23年5月12日から4年間です。

会派の紹介

（平成23年4月1日現在）

浅口市議会では、会派による議会運営を行っています。

会派とは同じ政策を持つ議員集団で、浅口市議会では3人以上の議員で組織することを認めています。

○ 浅政会（せんしやうかい）

代表 田口桂一郎

伊澤 誠

原 彰

藤澤 健

○ 清風会（せいふうかい）

代表 井上 邦男

加藤 淳二

佐藤 正人

大西 恒夫

竹本 浩司

中西 美治

高橋 範昌

青木 光朗

岡邊 正継

香取 良勝

道廣 裕子

平田 襄二

柚木 毅

大西 洋平

畑中 知時

桑野 和夫

意見書

●国道2号玉島・笠岡道路（国道2号バイパス）整備に地元の要望の反映を求める意見書

【原案可決】

鴨方町六条院西地区代表者6名より議会に対し、国道2号バイパス整備に関する要望書が提出され、国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会で審議し、提出することとしました。内容は国道2号バイパス整備に関して、国、県に対し地元地区と十分協議するよう求めるものです。次のような討論の後、賛成多数で可決しました。

反対討論

井上邦男議員

地元からの要望は全員の賛成が得られていないものであり、そうした要望書を元にやるべきではありません。

加藤淳二議員

住民全員がこの地元からの要望を知っているわけではありません。もう一步慎重に考えて地元全員の賛成の書類を持ってきてもらってから提出すべきです。

賛成討論

大西恒夫議員

地元の皆さんが会合して要望したものです。鴨方町六条院西地区にとっては、後に禍根を残さな

いように皆さんが考えられています。地元の要望が叶うように議会も応援していただきたい。

議員発議

議会改革を推進するための決議を可決

●浅口市議会議会改革推進に関する決議

【原案可決】

大西洋平議員を提出者に9人の議員が賛成者として、議会基本条例及び議員の政治倫理に関する条例の制定に向け協議を進めるよう求める決議案を提案しました。大西洋平議員は、2つの条例制定を実現し、そのルールを守り、実践することにより、市民に開かれ、信頼される議会となる。そのため、優先的に2つの条例制定に向けた協議をすべきとの提案理由を説明しました。

質疑・討論が行われ、採決では、賛成多数で可決しました。質疑・討論の概要は次のとおりです。

質疑

問 桑野和夫議員

議会基本条例については、議会改革特別委員会での協議事項に入っています。特別委員会の中で議論すべきではないですか。

問 井上邦男議員

議会改革特別委員会において全員で協議してから、提案すべきではないですか。

問 畑中知時議員

この決議がなければ何か支障がありますか。

問 道廣裕子議員

基本条例の制定は普段の活動の中で練り上げていくものです。政治倫理に関する条例は市議会の基本的なものであり、必要ないのではないですか。

答 大西洋平議員

重要な項目について審議する場合は議会で議決を持って協議を進めることが大事です。今回決議して、特別委員会の中で優先的に審議するという趣旨のものです。

賛成討論

佐藤正人議員

全国の地方議会において議会改革が重要なテーマであり、議会としての機能をより一層発揮するために、議会のあり方や議会活動をルール化した議会基本条例及び政治倫理条例の制定は必要不可欠です。近隣自治体では井原市はすでに制定済みで、笠岡市も検討中です。浅口市も優先的に取り組むべきです。

伊澤誠議員

執行部も議会も、市民の福祉向上を図る上で互いに競い合い、協力し合いながら、浅口市としての意思決定をしなければなりません。議会の機能をより一層充実し、市民に分かりやすい議会にするためにも今回提案された2つの条例の制定に向けての調査研究について、真摯に、真剣に、愚直に推進するべきです。

浅口市議会改革推進に関する決議（全文）

浅口市民から選挙で選ばれた議員により構成される浅口市議会（以下「市議会」という）は、浅口市の議事機関であります。同じく市民から選挙で選ばれた浅口市長とともに、浅口市民の代表機関であり、地方自治体の意思決定機関であります。

二元代表制によるこの2つの代表機関は、市民の負託に応えるために競い合い、協力し合いながら、浅口市としての最良の意思決定を導く共通の使命が課せられています。

市議会は、地方分権の進展に伴い地域における民主主義の発展と市民福祉の向上のために果たすべき役割は極めて重大な責務を担っています。

そのために地方自治体の自己決定と自己責任の範囲が拡大してくる時代において、市議会は持てる権能を駆使して、政策の決定、監視及び評価機能等の一層の充実、政策形成能力の向上等積極的な活動が求められています。

また市議会は、市民に開かれた市議会として、これらの課題に対応するため、議員や議会の活動原則、市民と議会の関係等の議会運営や議員に関する基本的事項を定め、真の市議会改革を推進する必要があります。

市議会では、昨年9月定例会で、議会改革特別委員会を設置しました。この議会改革特別委員会において、次の事項について最優先して議論を尽くし、議会改革をより一層推進するよう強く求めるものがあります。

1. 浅口市議会基本条例の制定に向けての調査研究
2. 浅口市議会議員の政治倫理に関する条例の制定に向けての調査研究

平成23年3月1日

浅口市議会

東北地方太平洋沖地震災害被災者に義援金を！

- 東北地方太平洋沖地震災害に対する支援に関する決議 **【原案可決】**

大西恒夫議員を提出者に2人の議員が賛成者として提案されました。大西恒夫議員は、被災者救援活動及び復旧活動のため、4月から6月までの3ヶ月間、議員報酬の15%（総額約320万円）を東北地方太平洋沖地震災害被災者救援への義援金として寄附するためと提案理由がありました。

次のとおり、賛成討論が行われ、全会一致で可決しました。（決議の内容は裏表紙に掲載しています。）

賛成討論

佐藤正人議員

同じ日本国民としてこの災害に対し、支援の手を差し伸べなければいけません。非常事態の今こそ浅口市議会議員一人一人が身を削って救済復興支援に貢献することこそ議会人の本義であると確信します。

7月から3月まで議員報酬を15%減額

- 発議第5号 浅口市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 **【原案可決】**

大西恒夫議員を提出者に2名の議員が賛成者として提出されました。大西恒夫議員は、4月から6月まで議員報酬の15%を寄附することになった。今後は震災復興のため、国からの特別交付金が交付されないことが予想される。7月からは議員報酬の15%引き下げによる資金約963万円を、市民の生活福祉が低下しないよう協力したいと提案理由を述べました。次の質疑・討論の後、賛成多数で可決しました。

質疑

問 中西美治議員

①なぜ唐突に15%減額というものを出したのですか。議会改革特別委員会で検討できなかったのですか。小委員会もできたばかりです。また、委員会で自由な議論をしてもよいのではないですか。

問 桑野和夫議員

②今回の災害は未曾有の事態であり、3ヶ月ではなく1年間寄附をしたほうがよいのでは。交付金の議論は減額されてから考えるべきです。

問 藤澤健議員

③議員報酬の減額は義援金とは別に考えるべきです。減額幅や期間については財政状況など考慮し、深く議論すべきです。

問 加藤淳二議員

④7月からの削減であれば6月定例会でも提案できます。国の交付金の件も決まっています。なぜ緊急的に提案したのですか。

問 井上邦男議員

⑤我々の会派は何度も10%減額を提案してきましたが、今回の提出者はすべて反対している。15%減額は我々も賛成ですが、なぜもっと早く減額すべきと気づかなかったのですか。

答 大西恒夫議員

①今回は大災害の発生により、緊急的に提案しました。平成24年度以降については皆さんの意見を集約した中でののがよいと思います。
②義援金として1年間やりたい気持ちは持っていますが、市民のためにも何かしなければなりません。
③皆さんで検討して変更されるのはいいですが、今日はこれで決定をいただきたい。
④被災者、市民の両方に目を向けて、3ヶ月と9ヶ月に分けて緊急的に提案しました。
⑤清風会から出されている10%減額については特別委員会で審議しようと反対してきました。震

災の件もあり、思い切った提案をして、議員報酬のことで市民の皆様様に心を煩わせることのないようにしたいと思いました。

賛成討論

佐藤正人議員

清風会から4回目の10%削減議案が提出され、否決されれば直接請求も考えたとの提案説明がありました。それにもかかわらず、議員報酬の適正化を明文化する議会基本条例制定に向けての小委員会への不参加は理解できません。この問題で市民を巻き込み混乱を招くことは避けたほうがいい。国家一大事の今こそ議員の勇気と決断を持って決定すべきです。

● 発議第2号 浅口市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

〔否決（議決不要）〕

井上邦男議員を提出者に、2人の議員が賛成者として提出されました。井上議員は、個人所得の減少や雇用不安などの中、合併特例措置終了による交付税の減額が見込まれている。市長ほか特別職も報酬を減額しており、市職員も一時金等を減額されている。議員だけが減額しないのは市民の理解を得られないと提案理由を述べました。

次のような質疑の後、最終日に発議第5号が先に可決されたため、この議案は議決不要の取り扱いとなりました。

質疑

問 桑野和夫議員

議員報酬は、議会改革特別委員会の審議対象であり、そこで議論を活発に行うことで処理はできないのですか。

答 井上邦男議員

この件は6月から提案しており、特別委員会ができて話が出ていません。

議員定数削減、議長交際費削減を検討する決議を可決

● 浅口市議会議員定数削減及び議長交際費の削減に関する決議

〔原案可決〕

大西恒夫議員を提出者に2人の議員が賛成者として、議員定数の削減と議長交際費の削減を検討する決議案が、提出されました。
大西恒夫議員は、議員定数削減は避けて通れない。議会改革特別委員会で審議し、結論を得るべき。議長交際費を6月補正予算において45万円に減額するべきと提案理由を説明しました。
採決では賛成多数で原案のとおり可決しました。質疑、討論の概要は次のとおりです。

質疑

問 桑野和夫議員

①議員定数は現行定数20人から14人の間で検討とされていますが、削減が前提で間違いありませんか。また、議会改革特別委員会で協議できなかつたのですか。定数削減により民意の集約が困難になり、談合政治が行われる可能性があると思いますが、見解は。

問 井上邦男議員

②決議の内容は賛成ですが、議会改革特別委員会ではなかなか結論が出ない。その都度委員会で時間をかけて物事を決めてほしい。

問 道廣裕子議員

③これらは大きな問題なので、議会改革特別委員会で十分議論すべきです。

問 加藤淳二議員

④なぜ閉会間に提案されるのですか。考える時間が十分に取れるよう早く出すべきです。

答 大西恒夫議員

①定数削減が前提です。議会改革特別委員会の中で協議していこうと提案した。基本条例を作り、その中で議員が積極的に市民の中へ出て行くことにより民意は集約できる。談合政治がないように決めるのが基本条例です。

②今までは全員で話をしていましたが、小委員会ができたので協議が進むと思います。

③まったく同じ意見です。

④閉会中に審議するべき内容なので、最後にお願いしました。

賛成討論

加藤淳二議員

決議の内容については清風会の主張が盛り込まれており、定数は14名という非常に少ない数字から検討することでありがたい。議長交際費についても、提案説明の中で45万にしたいといわれました。これも清風会の主張そのままです。

佐藤正人議員

議員報酬と定数はセットにして議会基本条例の中で検討されるべきものです。大震災の復興のため、今後国の財政難が予想され、浅口市も行財政改革が必要で、議長交際費もさらに検討すべきです。行財政改革と市民福祉向上の観点から議員定数の適正化を図ることが議会改革の基本です。

浅口市議会議員定数削減 及び議長交際費の削減に関する決議（全文）

わが国の地方財政を取り巻く状況は依然厳しく、本市においても税収の大幅な落ち込みや合併特例措置終了による交付税の減額を控えており、厳しい財政運営が求められています。こうした中、市民の負担に応える議会となるため、さらに協議を進めていく必要があります。

本市議会としましては、昨年の改選時から議員定数が24人から20人に削減されました。また、平成23年度当初予算において、議長交際費を減額するなど、協議を進めてまいりました。9月には議会改革特別委員会を設置し、議員定数、議員報酬を含む議会費の削減、議会基本条例の制定に向け、議員全員で協議していくこととしました。

そして12月定例会において、議会改革特別委員会で議論を尽くすよう求める決議を可決したところであります。

そうした観点から、浅口市議会においては、下記の事項の実現について全力を傾注し、議員全員による議会改革を推進することをここに表明します。

1. 議員定数については次回の改選時までに、現行定数から14人の間で適正な議員定数削減を行うべく、市民、有識者の意見を取り入れながら、慎重に協議を進めていく。
2. 議長交際費については、本年度の使用額等を考慮し、さらに減額するよう協議を進める。

以上決議する。

平成23年3月17日

浅口市議会

委員会レポート

各委員会での審議内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

● 2月9日開催

平成23年度から変更する外国語指導助手配置計画について、学校及びPTAへの周知についての報告がありました。また、幼稚園及び小学校1年から3年までの外国語活動については月1回程度実施できるよう基準を作りたいとの報告を受けました。

● 3月10日、17日開催

委員会付託された条例案6件、補正予算案2件、当初予算案2件について審議し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

民生常任委員会

● 2月14日開催

健康福祉センターの浴場について、7月1日からすべての利用者に使用料をもらい運営する。金光及び寄島老人福祉センターの浴場については6月末で廃止するとの報告がありました。

● 3月11日、17日開催

委員会付託された、条例案1件、補正予算案5件、当初予算案5件について審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

● 2月10日開催

市民からの相談業務の充実を図るため、4月から、産業振興課内に「浅口市消費生活センター」を開設するとの報告がありました。また、高齢者の相談が多いので、ケアマネージャーや保健師などと連携していきたいとの事でした。

● 3月14日開催

委員会付託された、条例改正案2件、補正予算案4件、当初予算案5件及び市道路線の認定等2議案について審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

鴨方駅周辺整備調査特別委員会

● 2月7日開催

鴨方駅及び南北広場の整備状況について報告を受けました。

国道2号線を横断する自由通路についてはJR横断通路から国道2号通路まで連続した歩道として、有効幅員が4mで実施したい。概算事業費は2億円を見込んでいるとの事でした。

国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会

● 2月21日開催

国道2号バイパスの整備状況について説明があり、倉敷市玉島阿賀崎から金光町佐方までの1期工事は、事業ベースで50%程度が完了しており、金光町佐方から笠岡市西大島新田までの2期工事は現在第2回目の説明会を行う準備をしているとの報告がありました。説明会では、鴨方町六条院西地区の2号バイパスは盛土で計画しているが、高架にしてほしいなどの要望が出ているとの報告がありました。

● 3月14日開催

鴨方町六条院西地区の代表者6名より、議会に対し「国道2号バイパス建設に伴う要望書」が提出され、その内容について協議しました。要望書は、一定区間を高架で整備をすることなど、12項目の要望を関係機関に働きかけを依頼するものでした。

慎重に審査し、委員会として、国や県に対し、十分に地元と協議を行うよう求める意見書を本会議に提出することとしました。

常任委員会・特別委員会

上下水道整備調査特別委員会

● 1月25日開催

上下水道の受水先について、執行部は平成23年度中には結論を出すとの事でした。

● 2月23日開催

下水道整備に関する地元説明会を平成23年9月から4ヶ月程度掛けて市内30箇所、約2400世帯を対象に実施するとの報告がありました。委員会として、説明会の前に市としての下水道整備の基本方針を文書でまとめるよう要望しました。

議会改革特別委員会

● 12月24日開催

議長交際費について、支出基準と公表方法に関する要綱について協議したのち決定し、平成23年1月から、ホームページ等で用途と金額を公表することにしました。

また、一般質問の方法を一問一答方式に変更

することについて、近隣自治体の状況や反問権の付与について調査し、検討していくこととしました。

● 2月23日開催

一般質問の方法を一問一答方式へ変更することについて、県内他市の状況などの調査結果を元に意見を出し合い、引き続き協議していくこととしました。

また、政務調査費の運用基準については、近年の裁判例などを元に全体の見直しを協議していくこととしました。

● 3月9日、14日開催

本会議初日に可決された「浅口市議会議会改革推進に関する決議」を受け、浅口市議会基本条例及び浅口市議会議員の政治倫理に関する条例の制定に向け、早急に協議を進めるため、それぞれ小委員会を設置することとし、小委員会の構成を次のとおり決定しました。

● 「議会基本条例に関する小委員会」

・調査事項 浅口市議会基本条例の素案の作成に関すること

委員長 中西 美治
副委員長 伊澤 誠
委員 竹本 浩司 田口桂一郎
香取 良勝 道廣 裕子
高橋 範昌

● 「政治倫理条例に関する小委員会」

・調査事項 浅口市議会議員の政治倫理に関する条例の素案の作成に関すること

委員長 柚木 毅
副委員長 佐藤 正人
委員 岡邊 正継 平田 襄二
桑野 和夫 原 彰
藤澤 健 大西 恒夫
大西 洋平

一般質問

会派代表者2名が
議員9名が

議 市政を問う！

3月定例会では11名の議員が一般質問を行いました。

なお、一般質問は質問した議員が作成した原稿に基づき掲載しています。

浅口市政を問う!



浅政会 田口 桂一郎議員

広域行政について

問 浅口市においては、上水道と消防を笠岡市、里庄町との一部事務組合を設置して、共同で事務にあたっています。旧金光町地域は事務組合をつくらず倉敷市に委託しています。平成19年に厚生労働省から分水は違法だと指摘されています。今後、市としてどのような対応を考えているのかお伺いします。

答 栗山市長

合併時の課題である受水先の統一については、平成23年度中に一定の方向性を出す考えです。また金光地域の常備消防を一本化するにあり、関係市町と十分な協議を行う必要があります。慎重に研究していきたいと考えております。

問 金光地域は、土地の用途制限のために開発が抑制され、土地評価額にも大きな違いが生じています。県は、浅口市都市計画マスタープラン

の実現に向けて支援を行うと聞いていますが、このマスタープランには、白地の鴨方地域にも規制がかかるかと計画されていますが、解決に向けた答弁をお伺いします。

答 栗山市長

市全体の一体性を確保する町づくりの実現に向けて、県の支援、指導のもと調査検討していきます。

市長の進める施策について

市営バスについて

問 現在、国や県の指導で、補助金によって路線バスを維持してきました。4月からの市営バスの運行にともなって、既存のバス路線は、朝夕の通勤時間帯を除いて大幅に減便されますが、市営バスの利用が低迷し、路線バスもなくなれば、空白地帯となることも懸念されます。公共交通の将来を見通した市長の見解をお伺いします。

答 栗山市長

市営バスは、通院、買い物、公共施設の利用など、日常生活の移動する利便性の向上を目的にするもので、多くの皆様に利用いただきたいと思っています。公共交通が空白にならないよう、改善点も聞き、より使いやすいものになるようにしていきたいと思っています。

工業団地について

問 莫大な資金を投資する事業であり、浅口市の予算規模から考えると、非常に危険性のある事

業であります。慎重な計画性のある構想でなければならぬと思います。候補地の地元の皆さんの理解を得ているのかお尋ねいたします。

答 栗山市長

浅口市の自主財源の確保、市民の働く場の創出は重要な課題です。財政力に見合った造成計画をするため、複数の造成パターンで検討できるように概略設計を行っています。候補地の皆様には、今後理解をいただくよう努力したいと思います。

浅口市の将来像について

問 市民の声は、「福祉、教育、子育て、安全などの施策を、先ず進め、浅口市を市民にとって住みやすいまちにしていこう」とだと思います。市長は、将来の浅口市の進むべき方向のかじ取りをする方です。浅口市の将来の都市像をどのようなものにしようとお考えなのか、お伺いします。

答 栗山市長

私のマニフェストの柱であります子育て王国浅口の創造につきましては、子育てしやすい環境、教育の充実についての政策を掲げております。福祉は、弱者救済、高齢者や障害者の方々が参加しやすい地域社会の実現を目指します。浅口市の地の利を生かしたまちづくり、再生可能エネルギーの利用促進も、環境施策に取り組みます。



清風会 加藤 淳二議員

合併5年の節目の検証と 今後の方針について

新市建設計画について

問 市民においては、合併したけど、なにがよくなったのかよくわからないし、また、新市建設計画が、どこまで進展しているのか疑問に思っている方も多くいます。そこで、新市建設計画の進捗状況と今後の方針を説明してください。

部長には、事業についてどのくらい完了し、又は着手していますか。総事業数と事業名をあげて説明してください。

市長には、最初の4年間は、外部から、この1年間は、市のトップとして、そして、今任期

中のあと3年でこの事業のほぼ総仕上げをするものとして、残り5年間の計画をどのように考えていますか。

特に完了・着手していない合併特例債事業については、事業毎に、今後の計画を中止も含めて、具体的に説明してください。

答 榑田企画財政部長

方針ごとに大きく、69の主な施策や事業のくりでまとめておりますので、個々の事業について具体的に記述しているものばかりではなく、方針に沿って事業を進めていくという性質のものでありますので、なんらかの取り組みを行っているのは、9割程度になります。

答 栗山市長

未着手の事業につきましては、総合計画の後期計画策定作業の中で、今後の財政状況を踏まえつつ、実施の要否につき、改めて判断します。

市長公約のこの1年の実績と今後の方針について

問 市長は、浅口市新生プラン・マニフェスト等を作り選挙において訴えて当選をいたしました。この新生プラン・マニフェスト等の22年度の実績と23年度からはどの事業から進めていきますか。

また、この中にもあり、会合においても、「子育て王国浅口」とよく言われますが、具体的に

何をしているのかよくわからないという声があります。

今までの施策とどのように違い、どのように進めていくのか説明してください。

答 栗山市長

投資対効果を明確にし、徹底した行財政改革をおこないます。その姿勢を示す為、特別職の給料を20%の削減、また、情報公開の徹底に努め、よりクリーンで、説明責任の果たせる政治を実現してまいります。

高齢者の方々を中心とした福祉政策は、ワンコインバスの運行に取り組んできました。

今後については、ごみの再利用、再資源化への取り組みを強化、地産地消の推進による地場産業の活性化、安心・安全の確保、新たな特産品など取り組んでまいります。

子育て王国については、子ども医療費の中学校卒業までの無料化、幼稚園・保育園の保育料の軽減、子宮頸がん等のワクチンの無料接種などに取り組んできました。4月より母子家庭の母親が就労するための資格取得への支援を予定しています。

教育面では、1月に適応指導教室の開設、生活支援員の配置を県内トップクラスに強化、子どもたちの学習習慣や生活習慣の確立に取り組んでまいります。

浅口市政を問う!



柚木 毅議員

鴨方駅橋上化完成に伴い、 快速電車の停車について

問 長い歳月と多額の費用、多くの方々の努力で、鴨方駅の橋上化の完成が間近になりました。改めて、関係各位に厚くお礼を申し上げます。改めます。この駅の完成で、南北から利用が可能となり、より利用が増えると思うし、駅周辺を中心に発展していき、交流人口も増えなければならぬと思います。

私は快速電車停車の要望を一般質問の中で以前からしてきました。市として、JRへの要望はしていただいたのでしょうか、すべての快速電車が停車してこそ、この駅を中心として、浅

口市が快適で暮らせるまちづくりになると思います。国道2号をまたぐ歩道建設を踏まえた中、この機会に、ぜひともすべての快速電車が停車するように要望していただきたい。JRの関係者の方は、どのように言っておられるのか、停車にはどのような条件が整えばよいのか、お聞かせください。

答 安倉理事

現在、上り方面の快速電車は11本運行されており、そのうち、午前7時台に2本が鴨方駅に停車しております。昨年3月の議会でもお答えしましたが、その後、何度かJRと協議しましたが、同じような内容でございまして、JRでは列車のダイヤ編成、利用客数、他の列車との接続、収益性など、いろいろな観点から検討して決めているということです。

市としては、新駅、特にJR横断通路による南側からの利用が可能になるなどの効果を注視しながら、鴨方駅に快速電車の停車本数が増えるよう、JR西日本岡山支社に対し、引き続き要望したい。



JR鴨方駅新駅舎

子どもを見守る会の連携について

問 子どもたちを地域で育てようと通学時に子どもを見守り会ができています。市内にもこのような、子どもたちを見守る活動をしている団体がいくつもあります。

そこで提案ですが、こうした活動をしている会の連絡会議をつくり、情報交換ができるようにしてもらえないでしょうか。日ごろの活動の情報の交換をし、地域の子どもを地域とともに育てようということを確認できればよいと思います。

答 筒井教育次長

子どもたちの安全な登下校や地域での生活のために、市内の多くの地区で地域の方々に見守り活動をしていただいています。

多くのPTAでは一つの事業として、交通指導やあいさつ運動に継続して取り組んでいます。それに加わる形で、不審者事件等に対応するため、本市内でも老人会等を中心として、小学校区での見守り活動が行われております。

見守り隊活動が組織化されている小学校では、見守り活動に対して、児童・生徒の集会の場でのお礼の気持ちを伝えたり、教職員との懇談の場を設けたりして、関係者の共通理解を深める取り組み等が実施されています。学校区単位で、それぞれ実態に応じた取り組みが継続されているようですので、今後地域の皆さんのご支援を頂戴していくことができれば、大変ありがたいと考えています。



香取 良勝議員

市長の身内に甘い行政はやめよ

問 前市長の漢詩に2800万円使用(3巻分)については精査すると答弁。迷惑施設に血税を使っている他市はないのに何故浅口市は血税を使うのか。浅口市は現在財政が大変厳しいと言いながら何故不必要な工事に終止符が打てないのか、精査しないのか。

下竹地区の迷惑施設である最終処分場に名をかりた不必要な工事に市民の血税を4800万円使うのか、美化管理組合委託に127万3千円を丸投げ(市になって丸投げをする為に組合を作る)入札無し、金光町時代にはなかった。

・300円のセメント(コメリ)で最初に購入した後に680円で松原工業で購入。
 ・県の職員が県の仕事をしながら休日に県に届けもなしに何ヶ月も日当稼ぎ。(現下竹地区副区長)違法ではないのか。
 ・下竹地区に前幼稚園に立派な公会堂があるにも関わらず、使用しない公会堂の丸投げ工事に不必要な血税使用(180万円)。私の試算では半額で出来る「幼稚園公会堂まで約100m」
 ・田の中(下竹地区)にいらぬ工事に血税で丸投げ工事「工事費水増しの為」私の試算では半値以下。市民が一年間で10人通行しない道路。(約300万円)
 ・要らない倉庫に18万6千円、私の試算では3万円。基礎工事だけ(その中に使用しないセメント、その他不要な道具、倉庫に一杯あった)
 ・畑中前金光町長の墓地に市民の血税で花壇を作っている、道を上からと下から墓地に行く道を造っている。市民の血税、金光町時代から(億の工事費)、浅口市には市営墓地がない。
 他にも市民の血税を迷惑施設に使用している。

寿光園について

問 金光時代に質問をし「畑中町長時代」答弁で22年度から4000万円支払うと答弁したが未だに支払っていない。「その当時は金光町の(血税)町民税から支出していたと記憶しているが今は市民税」請求すべきではないのか。

反対派には精査し栗山市長応援者には寛大な行政、議会を軽視しているのでは。栗山市長に公平な行政をして頂きたい。

答 栗山市長

西山拙斎全集に関する件については長期にわたり複雑な問題があり現在精査中。

地域対策事業については迷惑施設である最終処分場で、地区と協定に基づいて協議を行い、合意し、約束した事業であり、誠意を持って励行する事が地区と行政の信頼であり、行政として非常に大切であり市の方針である。地域と協議しながら事業が出来るよう忠実に職務を遂行しております。

工事費や会計処理については、出来高払いを行っています。適正に処理されると判断しています。

寿光会の問題については当該法人内部における経理不正流用でありますので、市として対応は考えておりません。

税金を無駄に使わないという事は私と全く同じ考えであります。



佐藤 正人議員

買い物弱者対策について

問 買い物弱者とは、食料品などの日常の買い物
が困難な状況に置かれている人々のことを言
います。今、全国的に少子高齢化や過疎地域の
拡大が進む中、移動手段がない高齢者を中
心とする買い物弱者が増えています。経済産
業省の推計によりますと、この買い物弱者
は今、全国で600万人に上ります。岡山県
でも60歳以上のうち10万人の該当者
の方がおられるようです。まさに20人
に一人という勘定になります。本市にお
いてはどう把握しているのか、また今後、
調査・対策を講ずるべきと考えますがど
うですか。

答 栗山市長

市営バス「浅口ふれあい号」は市民の要望に
応え、通院と買い物などに役立つように路線を
設定していますので買い物弱者対策にも十分、
役立つものと考えています。

自治体クラウドの

取り組みについて

問

クラウドというのはコンピューターシステム
のネットワークをイメージ的に表現したもので
あり、自治体クラウドというのは、自治体・行
政の情報コンピューターシステムをいいます。
行政コストの圧縮と行政サービスの質の向
上、業務の効率化の進展を図っていく上にお
いて、総務省が進めている自治体クラウドにつ
いて、本市ではどのようにお考えか。また、今後、
ぜひとも調査研究を行い、近隣自治体とも協
議を進めていき「広域共同向けデータセンタ
ー型クラウド」の実現に向け取り組んではどう
でしょうか。

答 榎田企画財政部長

行政コストの削減の観点からも大変重要なこ
とであると考えますが、共通のシステムを複数
の自治体で利用することが大前提となるため、
23年度に設置されます岡山県電子自治体推進協
議会、自治体クラウド検討会、または自治体ク
ラウド検討会ワーキンググループに積極的に参

加し、調査研究をしたいと思っております。

災害情報携帯サービスの

取り組みについて

問

災害時の情報伝達手段においては、人命救済
や避難支援、そして二次災害の防止などの視点
からいち早く住民に伝達することは、市民の命
を守る行政として非常に重大な責務があると思
います。現代では、生活の必需品ともいえる
携帯電話への情報発信が最も理想ではないでし
ょうか。配信される情報としては、①火災発生
の情報 ②警報の発令と解除 ③災害時の交通
情報 ④避難勧告情報 ⑤市災害対策本部の設
置と解散などが考えられます。ぜひ浅口市も検
討してはどうですか。

答 栗山市長

市民生活の基礎であり、重要な役割と考えま
す。今後、浅口市に適した災害情報提供サービ
スを検討し、さらに災害情報はもとより市民参
加の市政を進める上でイベント情報やさまざま
な市政情報の提供に活用することも研究したい
と思っております。



中西 美治議員

**総合支所機能のあり方を見直し
効率の上がる機構改革の断行を！**

問 浅口市の行財政改革の最も重要で、最大なことがらとは、抜本的な機構改革を柱とする金光総合支所、寄島総合支所のあり方の見直しであると思っております。

就任されて1年近くたった今日、市長はどの間どのような協議や検討をされたのでしょうか。またどのような方針、方策を持っておられますか。次の点に配慮してお答えください。

1つ目に、現在の総合支所は支所として残す。市民に対する窓口業務、例えば、戸籍、住民移動、印鑑登録などの届け出事務、住民票や身分証明書などの各種証明事務、また国民健康保険

介護保険など医療・福祉の相談などの窓口業務の一部は支所業務として残り、市民サービスが確保できる人員配置をする。業務担当者には、経験豊かで地域に明るい職員OBも嘱託として採用することも考慮する。

2つ目に、その他の業務に係る部や課は本庁舎および支所を含む1か所に集約し、執行体制の強化を図る。

3つ目に、機構改革を実現するために、目標期限を設定して、検討委員会とか諮問機関を設けて検討する。

答 栗山市長

財政見直しは厳しい

浅口市は、県内で最もコンパクトな市であり車で東西15分もあれば通りすぎてしまうほどであります。行政効果や行政コストを考えると、総合支所の整理、統合を考えていく必要もあり、将来的には機能縮小の方向が望ましいのではないかと考えております。自治体経営においては、行財政基盤を強化することが最も基本であります。特に浅口市は、合併による特例措置として、平成27年度までは普通交付税が増額されていいますが、この措置は、平成28年度から32年度までに段階的に縮減され、現時点での試算では約9億円を超える普通交付税が減額される見通しであります。

提言には同感。…今後慎重に研究

健全で持続可能な財政運営を行っていくには不断の決意を持って行財政改革を断行しなければならぬと考えています。行財政改革を行っていく中で最も重要で、最大のことがらは両支所の見直しではないかとの提言は私も同じ考えを持っております。しかしながら、現在の総合支所方式は合併協定に基づき設置されているものであります。行政サービスの低下になるとの懸念もあり、総合支所の見直しについては、議員の皆さん、市民の皆さんの提言や意見を聞き、財政と住民サービスの両面から議論を深めていく必要がありますので、検討委員会の設置も含めて、今後慎重に研究していきたいと考えております。



◀金光総合支所



◀寄島総合支所

浅口市政を問う!



桑野 和夫議員

地域に根を張って頑張る 中小企業や地場産業の応援を!

問 これからのまちづくりは企業の誘致に力点を置くのではなく、地域経済の根幹である中小企業や地場産業をしっかりと応援してこそ地域が豊かに発展します。そのための具体策として、製品開発や販路開拓の相談、地元の食材の学校給食への利用、消費者と結んだ直売所への支援などの項目を入れた「中小企業振興条例」を制定してほしい。

答 松田産業建設部長

中小企業の振興は大変重要であり、条例については先進的な自治体の情報を集めていきたい。

答 栗山市長

中小企業などが新しく取り組んでいくものを支援できる振興策を検討して、地場産業の活性化を図っていきたい。

タクシートの助成 障害者やぜんそく患者などに拡大を

問 浅口ふれあい号にあわせて実施されるタクシーの助成を障害を持った人、特に下肢障害の人、あるいはぜんそく患者などに助成の拡大をしてほしい。弱者に優しい街をつくるという点でもぜひお願いします。

答 安田健康福祉部長

よほどの緊急性、必要性が認められない限り、市単独での経常的な補助制度の新設は困難と考えています。

雑草が生い茂っていたり、家屋が倒壊のおそれのある民地の対応について

問 こうした土地が市内に少なからず存在をしています。こうなると近所の方を中心に、防犯上からも、安全の面からも、また環境面からも問題が生じてきます。対応策はどうか。

答 柚木生活環境部長

23年度から環境基本計画を策定する予定で、事前に環境の保全等について基本理念を定め、市民・事業者・行政の責務を明らかにする

ための関係条例の制定が必要になります。

県内でも空地での雑草放置などに対し、関係条例の中で対応できるようにしている市もあるので、よく研究し検討していきます。

金光駅周辺整備とJR金光駅南口の改札についての方向性は

問 金光駅周辺整備基本構想を策定する上での考え方は。南口での改札で市長はトップセールスとしてJRに要請したいと答えられていますがその後どのような方向性になっていますか。

答 松田産業建設部長

市の総合計画や市民アンケート結果、市民からの要望などでニーズを把握して、安全・安心で利便性を高める方向でレイアウトを計画するものです。

答 安倉理事

南口での自動改札は、JRからコスト削減を図るなどの理由で非常に難しく良い返事をもらっていません。

答 栗山市長

南口の自動改札は4月から市営バスも金光駅に乗り入れることなど、交通結節点としての機能強化等に取り組んでいることをJRに訴えていきたい。



原 彰議員

広報紙に近隣市町の催し物の開催日等の掲載をしようか

問 今の時代多くの人がそれぞれの生活スタイルを持つています。車での行動範囲の広い年配者も多いので、ぜひ掲載してほしい。

答 櫛田企画財政部長

市が発行する広報紙という性質上、紙面を広げることにつきましては難しい面もあると考えます。しかしケーブルテレビで情報発信をしていただくようお願いしてみます。また近隣市町との広報担当者会議でこのテーマを取りあげてみたいと考えています。

不法投棄対策は

問 不法投棄物撤去作業の実施状況と防止対策実

施状況及び緊急雇用対策事業終了後の不法投棄物対策については。

答 柚木生活環境部長

平成21年度の撤去実績は、可燃・不燃ごみ合わせて約14トン、テレビ・冷蔵庫等218個、タイヤ571本でした。平成22年度の撤去状況は2月25日現在、可燃・不燃ごみ合計約9トン、テレビ・冷蔵庫などが83個、タイヤ111本です。今後の対策としては監視カメラを利用したり、監視パトロールを強化したり、警察ともタイアップしていきたいと考えています。また緊急雇用対策事業終了後においては、行政や事業者及び市民の責務を明確にするべく基本理念を定めた条例を平成23年度に制定する予定です。

耕作放棄地解消・里山再生対策は

問 高齢化が進むことで年々離農者が増え続けてきました。耕作放棄地対策は浅口市にとっても重大な問題です。またイノシシ対策を考えるうえでも里山の整備は重要です。

答 松田産業建設部長

農業委員会による耕作状況調査にもとづき、耕作放棄地の所有者に適正な管理や農地貸し出しの指導を行う予定です。また耕作放棄地への支援策として、再生作業に対し補助金を交付したり、草刈り機の貸し出

しはじめています。またJA岡山西でも農地の貸し手と借り手の仲介役等で4月から農地の斡旋事業をスタートさせる予定です。

里山再生については、現在活動していただいている12団体には補助金を交付しています。

また里山づくり講習会などを開催し、里山整備への関心を高める啓発活動を行っています。耕作放棄地や里山整備対策につきましては、効果や問題点を検証しながら地道に取り組んでまいります。

答 栗山市長

貴重な市民の税金が撤去作業などの費用として使われることがないようにするためにはまず市民の皆様お一人お一人が環境問題に向き合い意識を変えていくことが大切です。

市民と行政が連携し、それぞれの役目を果たしながら不法投棄の防止にむけた取り組みが基本であると考えます。

次に耕作放棄地・里山再生に関しては農業をやりたいという若い農業者や退職者、退職される世代の方々を対象として後継者の確保及び育成が重要と考えます。

またコミュニティ単位で話し合いの場を設けるなどの仕組みづくりも重要です。

里山再生に関しては多くの方々が地域の自然や里山に関心を深めていただき里山再生の活動へ参加していただければと願っています。

浅口市政を問う!



大西 恒夫議員

伊達直人(タイガーマスク)

問 伊達直人名でランドセルの寄付が年末にありその後各地に波及しました。心が熱くなりまして。今日、何か忘れておるものを気づかせていただいたような気がします。市長さんに、感想を。

答 栗山市長

喜ばしい現象です。一人一人がみんなのことを考えてゆく、公共心のある地域社会を築いていくことが大切です。

インターネット(ホームページ)の活用

問 市の情報発信の大切な一つです。情報の載せ方、考え方を検討してください。例えば、2月6日の「寄島かき祭り」、NHKでは予定の放送がありました。市のホームページに載せなかった理由を。

答 榎田企画財政部長

市の行政情報をお知らせすることを基本としており、個人的なもの、営利目的のものは、扱いを慎重にすべきです。観光協会のホームページにリンクするようにします。

問

マニフェストに借金時計を載せるとありますが、いつから載せられるのですか。

答 栗山市長

どういう形がいいのか、一生懸命検討しております。いつからといわれても、今お答えはできません。

空家の利用

問 空家が沢山有ります。大変もったいないことです。住んで管理してくれば無償で貸してもいいとの話もあります。定住化促進で笠岡市では新築に対しては最高100万円の助成をしております。浅口市も考えてはいかがでしょうか。

答 榎田企画財政部長

他市の制度を確認してみます。基本的には、民間業者による取引の中で行われることです。

100キロメートル歩行コース

問 市長さんは100km歩行をされた経験があります。寄島干拓地を利用して5km×20または4km×25＝100kmコースを作りイベントを組んではどうでしょうか。42・195kmのマラソンコースも設定してはどうですか。

答 栗山市長

住民の福祉の増進を目的とする行政とは、性格が異なります。寄島には苦陰の井戸三郎コース6kmがあります。



道廣 裕子議員

三郎島にトレッキングコースの整備を

問 市長は、市民の健康増進のため、来年度から市内にトレッキングコースを整備したいという強い意向を示されました。

平成3年に、一億円創生事業で約半分を投じて360度展望できる寄島園地を整備しましたが今は登る人も少なく草刈りに追われています。今度はアッケシソウと組み合わせ、唯一の海辺のコースとして整備をしていただきたい。

答 栗山市長

瀬戸内海国立公園の開発は問題も多いので十分なお答えにはなりません。アッケシソウ等も含め、三ツ山、三郎島を今まで以上にアピールしていきたいと思っています。

弱者世帯の地デジへの切り替えの対応は

問 高齢者の生活の中でテレビは欠かせません。現在2割弱の家庭でケーブルテレビ(笠岡放送)をつないでいません。デジタルテレビを買うか、チューナーが必要になります。

相談窓口とチューナー補助について伺います。

答 榎田企画財政部長

2009年8月に計9回説明会(旧町単位)を実施しており、昨年8月末の2日間、本庁舎一階ロビーで相談会を実施しました。

今年も臨時相談コーナーを設ける予定で、高齢者世帯の希望者には戸別訪問で説明をし、NHK受信料の全額免除世帯を対象として、一人暮らしや住民税非課税世帯へのチューナーの無償給付を行っております。

TPP(環太平洋経済連携協定)について市長の所見を伺う

問 TPP参加は関税が全廃されることです。関税によって国内自給率40%(食の安全・安心の確保、BSE、ポストハーベスト等)がかるうじて守られてきた。撤廃で、外国から農産物は勿論、漁業、郵政、医療、建設工業等米国企業参加が可能になります。お考えを伺います。

答 栗山市長

多くの問題を含む大変難しい問題です。JAをはじめ農業者の反対運動も承知しています。TPPに参加すると農林水産省の試算では食料自給率は14%に下りますが、逆に内閣府の試算ではGDPは2.4から3.2兆円に増えます。現時点では国の動向を見守っていきたく考えています。

バス路線の見直し、運行の改善を強く要望する

問 特に寄島東線は全便とも安倉峠を越して鴨方駅南口へ接続してないので、電車に乗ることはできず、帰りのバスもありません。一番期待していた安倉地区住民は前のバス便を増やした方が良く、即刻改善を願いたい。



浅口ふれあい号

答 榎田企画財政部長

市民皆様へのアンケート調査の結果、路線・便数を策定した。多くの方に乗っていただけるよう配慮したつもりです。寄島地域の方の希望の行き先は、圧倒的に金光病院です。経緯はご理解を賜りたい。市民の利便性の向上となる相談もしております。

浅口市政を問う!

浅口市の主要事業における 金光町の位置づけについて

問 合併後のこの5年間は、鴨方や寄島に大型事業が集中し、金光が取り残されている感覚があります。このことにより、金光町地域が不公平感、不信感、閉塞感に包まれている状況があります。そういったなかで、栗山市長になつて始めての本格予算である平成23年度の当初予算において、金光駅及びその周辺の整備に関する予算が計上されました。この予算を見て、新生浅口市における金光の第一歩がようやく始まったという感想を持ってました。この予算は大きい意味があり、栗山市長にとっても期待をしている。



畑中 知時議員

具体的に金光駅南の改札口の設置や、金光教の門前町という意味を持つこの地域のまちづくりについて、市長の考え方を聞かせてほしい。

答 栗山市長

金光駅周辺は地域の拠点となる場所であり、浅口市の均衡ある発展ということからも核となるエリアです。駅周辺の歴史、文化、自然、環境等を考慮しながら、JRや地域住民、商店街の方々としっかり協議を行い、交通拠点としての利便性を高める施設を整備していきたい。



金光駅周辺

議会用語解説

今回の議会だよりの中で記載のある議会の専門用語について解説します。

・意見書

議会は、地方自治法の規定に基づき、公益に関することについて、国会や国の関係省庁などに対し、議会としての意思を意見としてまとめた文書を提出することができます。意見書の案は、議員または委員会が提出し、本会議でその可否を決めます。

・決議

議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のことをいいます。

・議会基本条例

地方議会運営の基本原則を定める条例。議会のあるべき姿、議会と議員の責務、議会と市民との関係、議会と市長との関係などを定め、存在感のある議会運営を目指すことを明文化するものです。

・政治倫理条例

議員が、市民全体の代表者及び奉仕者として議員活動を行う際に遵守するべき行動基準（政治倫理基準）を定める条例。

東北地方太平洋沖地震災害について

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、日本のみならず、世界中が悲しみに包まれました。犠牲になりました多くの方々に深い哀悼の意を表しますとともに被災者の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。浅口市議会といたしましては3月定例会最終日下記の決議を行い、4月から6月までの間の議員報酬の15%（約320万円）について義援金として寄附させていただきます。議員一同、被災地の日も早い復興を心よりお祈りいたします。

浅口市議会議長 高橋 範昌

(決議全文)

東北地方太平洋沖地震災害に対する支援に関する決議

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震災害は、世界最大級のマグニチュード9.0を記録し、犠牲者が数万人単位となると予想されるなど、未曾有の大災害となっております。

この震災により、日本は戦後65年が経過した中で最も厳しい危機に直面したといわれており、この国難を乗り越えるためには、日本国民全員が力を合わせ、被災者のためにできることを考え、実行しなければなりません。

浅口市議会は、犠牲者に対し謹んで哀悼の意を表し、また被災者に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、東北地方太平洋沖地震災害の被災者救済のため、協力するよう下記の事項について表明します。

1. 浅口市議会議員は、平成23年4月から平成23年6月までの間、浅口市議会議員の議員報酬の月額15パーセントを、東北地方太平洋沖地震災害の被災者救済のための救援活動及び復興支援活動等資金のため寄附することとする。

以上決議する。

平成23年3月17日 浅口市議会

6月定例議会の予定

会期：6月7日(火)

～6月23日(木)

〈主な日程〉

(全て9時30分開会)

7日…本会議

(市長政務報告、議案

上程)

13日…本会議(一般質問)

14日…本会議(一般質問)

15日…本会議(一般質問・

議案質疑・一部採

決・委員会付託)

16日…総務文教常任委員会

17日…民生常任委員会

20日…産業建設常任委員会

23日…本会議(委員長報告・

質疑・討論・採決)

※傍聴をご希望の方は、当日、

市役所3階議会事務局で、

傍聴券をお渡します。

お気軽にお越しください。

※上記日程は変更となる場合があります。

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**鴨方はるか**会のご協力により議会だよりを音訳しています。

編集後記

今回の主な内容は、12月定例会以降の各委員会の報告及び3月定例会の議案審議内容などです。

編集に携わる各委員は、議事録を精査し、できるだけ分かり易く表現し、正確にお伝えするよう心掛けました。

編集委員へのご注文、ご提言をいただければ幸いです。

広報特別委員会

委員長 中西 美治

広報特別委員会

委員長 中西美治

副委員長 伊澤 誠

委員 佐藤正人 平田襄二

桑野和夫 原 彰

柚木 毅 道廣裕子

議会だよりは再生紙を使用しています